

市民
ごみ大学
セミナー



富士山頂の
大気相
大河内 早大教授が調査

2025年
6月22日(日) 14:00~16:00

プラスチック汚染と わたしたちの健康

マイクロプラスチックは、海に流入して魚や海鳥などが摂食し、その魚を人間が食べています。また、肉眼には見えないほどの微粒子となって大気中に拡散し、人間が吸い込んでいます。しかも、マイクロプラスチックは、添加剤として有害化学物質を含み、さらに、海水中の有害化学物質を吸着しています。

海の生き物や、特に人体の体内に入ったマイクロプラスチックや有害化学物質は、どのような影響を及ぼしているのか。

世界は、プラスチックによる環境汚染の防止や、プラスチック削減、有害化学物質規制に向けて、どのような取り組みを行っているのか。また、私たちにできることは何か。

以上のようなことについて、プラスチックの環境汚染研究の第一人者である高田秀重さんから詳しく伺います。

講師 東京農工大学 農学部 名誉教授

高田秀重 さん



東京農工大学 農学部 名誉教授。専門は環境汚染化学。1998年からプラスチックと環境ホルモンの研究を開始し、2005年以来 International Pellet Watch を主宰している。2019年、キャンパスの自販機からペットボトルを一掃し、学内にマイボトル用給水器を設置した「東京農工大学プラスチック削減 5R キャンパス」を提唱・実施。Minderoo 財団の The Minderoo-Monaco Commission on Plastics and Human Health の執筆に参加したり、プラスチック条約 INC-4、INC-5

に向けた UNEP の regional workshop に参加し、専門家として条約制定に向けて活動している。2025年3月末に東京農工大学を定年退職。

主な著書：『環境汚染化学』共著 丸善出版 (2015)、『地球をめぐる不都合な物質』共著 講談社 (2019)。『分別が楽しくなる！ごみと資源のリサイクル』新日本出版社 (2025) などを監修。

microplastics

直径 5 mm 以下のプラスチックの粒子をマイクロプラスチックと呼び、2 種類に大別される。

1 次マイクロプラスチックは、もともと 5 mm 以下の粒子状で製造されたプラスチックで、マイクロビーズ（洗顔料や歯磨きの研磨剤）、レジンペレット、被覆肥料の被膜殻などがある。

2 次マイクロプラスチックは、街中や海岸などに散乱したり、海面に漂ったりしている様々なプラスチック製品が、紫外線によって劣化して砕けた破片や、化学繊維の衣類の着用時や洗濯時などに出る繊維くず、人工芝の破片などが主体。



ごみ・環境ビジョン21

〒184-0013

東京都小金井市前原町 4-11-15 井上方

TEL: 080-1131-6205 (井上)

申込先 FAX: 042-383-1668

e-mail: gomikan21@yahoo.co.jp

HP: <https://gomikan21.com/>

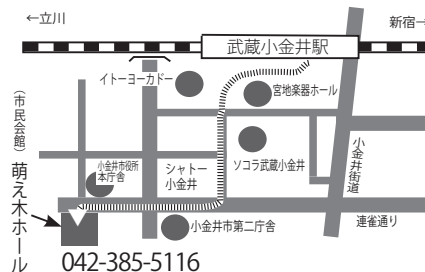
会場 小金井市市民会館 (商工会館3階 萌え木ホール)

武蔵小金井駅 南口 徒歩7分

できるだけメールや FAX で
事前にお申し込みください。
当日の直接参加も可能です。

参加費 (資料代)

会員・学生：無料
一般：500 円



042-385-5116